

平成 14 年度

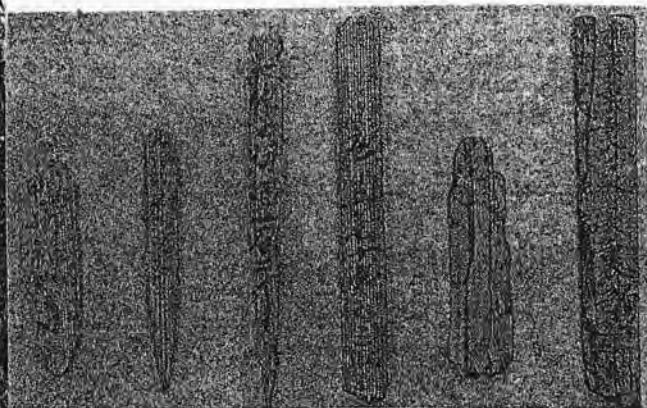
金沢市指定文化財展

期間

平成 14 年 6 月 22 日(土)
～7 月 21 日(日)

場所

金沢市立玉川図書館
近世史料館 展示室



金沢市立玉川図書館
近世史料館

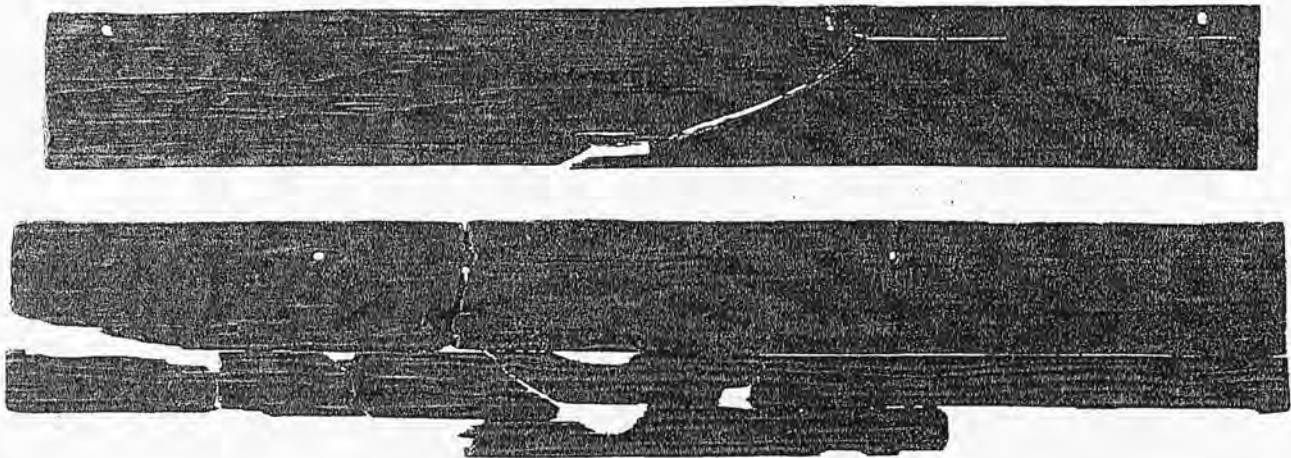


平成14年度 金沢市指定文化財展によせて

昭和25年、従来の国宝保存法などの法律を統廃合して、「文化財保護法」が制定されました。現在、「文化財保護法」上の文化財として、①有形文化財 ②無形文化財 ③民俗文化財 ④記念物 ⑤伝統的建造物郡が区分対象となっています。

金沢市においては、昭和25年の法制定に伴い、「加賀宝生」を無形の文化的所産として、第1号の指定をしました。以降、今年度3件の指定を含め、金沢市指定の文化財は70件を数えています。

金沢市指定文化財を、広く市民に知り触れていただくため、本年指定の3件を中心に展示することと致しました。



1号(上)、2号(下) 卷数板



1号卷数板実測図 (1/5)



2号卷数板実測図 (1/5)

展示品解説

平成 13 年度指定

かんじょういた 巻数板

出土地 : 金沢市堅田B遺跡
所在地 : 金沢市埋蔵文化センター (金沢市上安原町 60 番)
所有者 : 金沢市
数量 : 巻数板 3 枚
寸法 : 1号巻数板 110×795×7
2号巻数板 160×839×8
3号巻数板 49×1133×10 (縦×横×厚さ mm)

この巻数板は、平成 8～11 年度の発掘調査で金沢市北部の堅田B遺跡から出土した。遺跡は、鎌倉～室町時代の館跡で、周囲には幅約 4m、深さ約 0.8mの堀が検出されている。おそらく一辺 1 町程度のものが方形に巡っていたと推定される。巻数板は館の西側から計 3 点出土した。いずれも上部に吊り下げるための孔が 2 箇所あり、相当期間屋外で日光にさらされていたためか、墨が退色し、僅かな木地の盛り上がりで文字が判読できるにすぎない。1、2 号は般若心経の筆写に続き、記年 (1 号は弘長 3 年 [1263]、2 号は建長 3 年 [1251])・僧侶名・「敬白」とある。また、2 号は般若心経の後に目録 6 項目と願文が記されていて、目録部分には「大日□□□都婆廿五本」との記載がある。巻数板と同時に出土した木簡の「南無大日如来」という記載が、この「□ [卒] 都婆 (そとば)」に当たると考えられる。3 号は文字の存在は確認できるものの、断片であることと遺存状態が悪いことから文字の判読は不可能である。

巻数板がどのように使われたかについては、越後国国人領主色部氏が残した記録によると、毎年正月 8 日に邸宅の門に般若心経を記した板を吊り下げ、領主が家臣・領民らに酒と食事を振舞う行事が行われるとある。中世に描かれた絵巻物の中に、館の門柱に文字を記した板を吊るしている図を見ることができ、現在でも特定の期日に村境に大繩に吊るした木板を吊るす習俗が残る地区もある。

一つの木簡に、これだけの数の文字が書かれたものは全国的にも類がない。また、巻数板が記年銘を持つことで、本遺跡のみに留まらず北陸地方全般における中世土器の編年観をも塗りかえることのできる資料といえる。

平成 14 年度指定

木簡

出土地 : 金沢市上荒屋遺跡
所在地 : 金沢市埋蔵文化センター (金沢市上安原町 60 番)
所有者 : 金沢市

この木簡は、運河と推定される大溝から計 57 点出土した内のもので、1 つの遺跡より出土した数としては北陸最多である。これは奈良～平安時代のもので、遺跡は東大寺領横江庄関連の荘園管理施設であったと考えられている。木簡には様々な種類のものが存在するが、特筆すべきは付札木簡の量の多さである。これは出土場所が荘園管理施設の運河船着き場の周辺であったことによると考えられ、当時の物流の状況を知る上で貴重な資料である。上荒屋遺跡出土の木簡・墨書土器等の文字資料は、地方の初期荘園が中央の管理する大規模荘園に変遷してゆく過程を知ることが出来る、全国唯一の資料であり、その実態をも窺うことの出来る貴重な資料である。

上荒屋遺跡は金沢市西部に位置し、昭和 62 年から 5 年次にわたり発掘調査が行われ、縄文時代から中世に至る大量の資料を出土している。平成 4 年には県指定史跡に認定され、平成 9 年に上荒屋史跡公園として一般に公開されている。

下涌波町のモウソウキンメイチク林

所在地：金沢市下涌波町鳥毛十五番
(約三千平方メートル)
所有者：丸山喜久雄

モウソウキンメイチクは、九州、四国で希に自生しているものが見られる。特徴としては、稈は、緑色で節ごとに黄色の縦縞が入る。石川県では金沢市のほか、加賀市、輪島市で自生していることが知られている。下涌波町のモウソウキンメイチク林は、丸山氏所有地にモウソウキンメイチクが、七百本余り、モウソウチクと共に混在し、群生しており、他の国・県指定天然記念物と同様の特徴を持ち、自然に発生したものとして貴重である。

※ 加賀市はマダケの変種

瑞泉寺文書

所在地：金沢市立玉川図書館(管)
所有者：瑞泉寺
点数：17,838 点

江戸時代に加賀藩の浄土真宗東方の触頭であった金沢石坂(現白菊町)の瑞泉寺の所蔵する古文書。

所蔵の古文書は、黒漆塗長持や御用筆筒などに納められ、御用番の寺に持ち廻られていた所謂「触頭文書」と瑞泉寺の自坊文書に大別される。文書の年代は江戸中期から明治初年のものが大半を占める。

触頭文書は、金沢城造成成就の祝儀や文化十三年の五尊宝物等改帳など、多彩な願や請書類が事案ごとにまとめられて保管されている。自坊文書は、末寺・門徒に関するもののほかに住職・寺族の日常生活における交際や家系についての文書が豊富遺されており貴重である。

本古文書は、藩政時代の加賀藩による寺社統制の具体相と真宗寺院の在り方を知る上で、質・量ともに県内に遺存する最も貴重な基礎資料であり、金沢城下町における生活文化を理解する史料としても重要である。

瑞泉寺と触頭役

瑞泉寺は、本願寺五世綽如が草創したとされる越中国井波瑞泉寺の流れをくむ。同寺は、井波瑞泉寺准良の二男宣心が加賀国押野上宮寺に入寺したことに始まるのである。同寺には、次のような裏書をもつ絹本着色聖徳太子影像及び絹本着色七高祖影像を蔵し、前身が押野上宮寺であったことを確認できる。

本願寺釈宣如（花押）
元和二丙辰稔五月廿八日
加州石川郡押野上宮寺

聖徳太子真影

常住物也、
願主釈了□

本願寺釈宣如（花押）
元和二丙辰五月廿八日
加州石川郡押野上宮寺

□朝高祖真影

常住物也、
願主釈了祐

上宮寺は戦国期石川郡における有力寺院で、同郡押野（現在の金沢市押野町・石川郡野々市町押野）にあったが、本願寺の東西分派にともなう混乱のなかで、同寺門徒も分裂していったようである。これによって近世初頭には四ヶ寺の上宮寺が形成された。西方（浄土真宗本願寺派）の金沢西末寺内上宮寺・小松上宮寺、東方（真宗大谷派）の金沢出大工町上宮寺と金沢片町上宮寺である。このうち金沢片町上宮寺が、後の瑞泉寺となるのである。

『貞享二年寺社由緒書上』によれば、慶長八年（1603）押野より金沢片町に転じ、寛永十年（1633）宣心が入り、上宮寺を瑞泉寺と改めたという。この間、元和二年（1616）に前述の影像が下付けされた。裏書の所付は旧地を記したものである。ここで問題となるのは、前掲の裏書が東本願寺十二代宣如の下付であることと、宣心の出た井波瑞泉寺が当時西方に属していたことを、どのように理解したらよいかということである。おそらく宣心が何らかの事由によって井波を退去し、東方に帰参して、上宮寺了祐の後継者として入寺したのであろう。これを機に井波が西方であったことから、東方において瑞泉寺の遺跡を宣心に継承させ、寺号を改めたのであろう。さらに万治二年（1659）金沢野町に転じている。

ところで慶安元年（1648）加賀藩では寺社奉行が設置されると、仏教各派及び地域ごとに触頭が定められた。真宗東方では専光寺がその任に当たり、加賀国金沢・石川郡・河北郡・能登国羽咋郡押水分の一三九ヶ寺を触下とした。享保十四年（1729）に瑞泉寺真栄が触頭役に就き、二ヶ寺体制となった。さらに天明五年（1785）に善福寺も加わり、国法・寺法両法の触頭三ヶ寺体制が成立し、この制度が廃絶するまで継続した。また、一時期能美郡の同役も勤めている。真栄が同役に任命された背景には、同寺が一家衆寺

院であるうえに、東末寺の役人であったことによる。役人とは三等（院家・内陣・余間の身分格）寺院の首座として東末寺の経営に関与する職責のことであり、触頭の責務を果たすうえでふさわしいと認識されていたためであろう。

同寺は、触頭任命を機に新たに現在の寺院を与えられ、公務遂行のためとして境内を拡大した。

（「加賀藩寺社触頭文書調査報告書（その一）瑞泉寺文書目録（その一）」より抜粋）

1 触頭役補任に付申渡状 享保 14 年（1729）か

瑞泉寺が、藩から浄土真宗大谷派（東派）の触頭に任命されたときの申渡状。本状によると、瑞泉寺が触頭に任命されたのは、東末寺（金沢御坊）の役人を勤めていた事によるものだとわかる。

2 三ヶ寺国法触頭役申渡に付本願寺坊官連署書状 天明 6 年（1786）か

本願寺坊官から触頭役を勤めた三ヶ寺に宛てた書状。天明 5 年（1785）、専光寺・瑞泉寺に加え、新しく善福寺が触頭に任命された。それに対する本山の追認を示したもの。

3 寺国法御触帳 （正徳～寛政）

藩から伝達された触れを書き留めたもの。触れは、寺社奉行から触頭（瑞泉寺）へ、触頭から組合頭（徳龍寺）へ、組合頭から各組の寺院へと伝えられた。

4 寺号帳 寛政元年（1789）

蓮福寺（金沢浅野町）が組合頭を勤めていた組の寺号と所附（所在地）を記した帳面。各寺院は 5～6 ヶ寺ごとに組を作り、藩の寺院支配に組み込まれていた。

5 歎喜光院（乗如）影像・讃・銘・裏書授与に付本願寺坊官等連署添状

享和元年（1801）、本願寺 19 世乗如の肖像画が、加賀国門徒衆に授与されたときの、坊官らの添状。

6 瑞泉寺乗栄跡式栄丸江被仰付に付請書 文化 8 年（1811）

瑞泉寺住職乗栄が、相続を認められたことに対する礼と、自らの跡式についての願を書上げ、寺社奉行に提出したもの。

7 五尊并伝来宝物寺号衣鉢等改帳 文化 13 年（1816）

河北郡二俣村本泉寺が、命により、自寺に伝来する五尊・宝物などを書上げ、触頭へ提出したもの。本泉寺は蓮如ゆかりの寺院で、蓮如自筆の御文などが残されている。

8 大谷本願寺加州石川郡金沢末刹再建棟札（写） 弘化 3 年（1846）

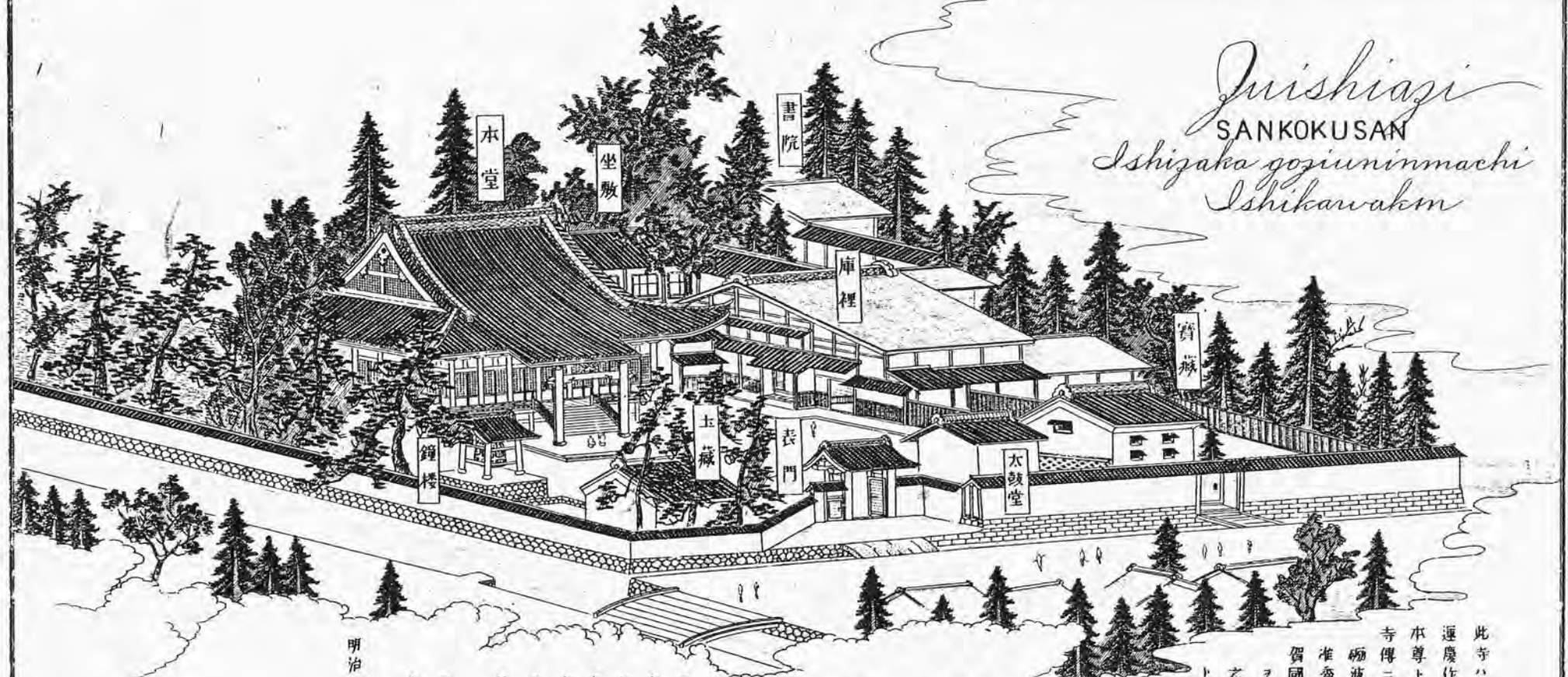
東本願寺金沢別院が再建された時の棟札の写。

9 御城御造営御成就祝儀に付請書 文化 8 年（1811）か

文化 5 年（1808）焼失した金沢城二の丸御殿の再建にあたり、各寺社が差し出した金銀の返済について、年寄中から達しがあった。本状はそれに対する請書で、羽咋郡の六ヶ寺組から触頭に宛てたもの。

石川縣金澤市石坂十五人町
真宗大谷
杉谷山瑞泉寺之景

Juishiazai
SANKOKUSAN
Ishizaka goziuninmachi
Ishikawakm



此寺ハ僧宣心ノ開基ニ餘リ
運慶作ノ阿弥陀如来ヲ以テ
本尊トス

寺傳ニ曰ク開基宣心ハ越中
砺波郡井波瑞泉寺第八世
准秀ノ二男ニシテ約ノ加
賀國石川郡押野村ニ一字

ヲ建立シ上官寺ト名ケ
之レニ住才後ヲ瑞泉寺
ト改メ今ノ地ニ移轉ス
此寺第三世常宗ハ碩

學天下ニ轟キ故ニ
本山ニ於テ諸國末
寺院家等三官ノ支
配且ツ寺法向禪頭

後ヲ勤メ在京ス
享法十一年四月藩主
前田吉徳郷ヨリ現境

内地ヲ賜ハルト同時
ニ國方ニ於テ一宗ノ
禪頭ヲ伊村ヲレ以來

第七世嚴心ノ代迄之
ヲ勤統セシト
寺寶ノ重ナルヲ奉
レバ左ノ如シ!

見真大師影像 一幅
見真大師自画像影像 一幅
皇太子影像 一幅

七高僧ノ影像 一幅
六字名号 蓮加法王眞筆
九字名号 全
十字名号 全
法便法身ノ尊像 慈覺大師ノ作

正信傳文 公作
六字名号 嚴作法王眞筆
明治三十年七月 刻

国指定天然記念物 キンメイチク

福岡県 久留米市御井町
高良山のモウソウキンメイチク林

福岡県 朝倉郡杷木町
久喜宮のキンメイチク

石川県 加賀市篠原町
篠原のキンメイチク

石川県 輪島市
縄又のモウソウキンメイチク林

群馬県 勢多郡赤城村
敷島のキンメイチク

石川県 金沢市下涌波町
下涌波町のモウソウキンメイチク林

高知県 高岡郡日高村
日高村のキンメイモウソウチク

大分県 大野郡野津町
野津町のキンメイモウソウチク

宮崎県 東臼杵郡北川町
祝子川のモウソウキンメイチク林

金沢市文化財保護課 調、「日本の天然記念物」より

※ 輪島市・高知県・大分県は県指定天然記念物
金沢市は市指定天然記念物

加賀藩触頭一覽(貞享2年)

宗派	寺社名	所在地	触下寺社
曹洞宗	宝門寺・天徳院 瑞龍寺	金沢 高岡	加州・能州 越中
臨濟宗	国泰寺 伝燈寺	射水郡西田 金沢	加州・能州・越中 加州
天台宗	西養寺	金沢	加州・能州
天台律宗	西方寺	金沢	加州
真言宗	宝幢寺 明王院 波着寺	金沢 金沢 金沢	加州 越中 能州
	長福院	羽咋	能州一宮
浄土宗	如来寺	金沢	加州・能州・越中
日蓮宗	本覚寺・本長寺 妙成寺	金沢 羽咋	金沢日蓮宗 加州・越中・能州法華宗
浄土真宗西方	表末寺上宮寺・西勝寺 勝興寺 光徳寺 松岡寺	金沢 射水郡古国府 七尾 珠洲郡松波	加州 越中 能登郡・羽咋郡・鳳至郡 珠洲郡・鳳至郡
	専光寺 本蓮寺 瑞泉寺・善徳寺 本念寺 長福寺 本誓寺 妙成寺	金沢 小松 砺波郡井波・城端 羽咋 七尾 鳳至郡阿岸 珠洲郡鶺鴒	石川郡・加賀郡・羽咋郡之内押水 能美郡 越中 羽咋郡 能登郡 鳳至郡 珠洲郡
浄土真宗東方	願行寺・蓮花院・医王寺・乾貞寺・天道寺	金沢	加州・越中・能州天台宗本山派・真言宗当山派
修験道	卯辰八幡宮 黒津船小浜神社 高岡稻荷社 能州一之宮 石動山 三崎大宮	金沢 加賀郡大根布 高岡 羽咋 能登郡石動山 珠洲郡三崎	加州 加州 越中 能州 能州 能州
神社			能州

(註)『加越能寺社由来』(石川県図書館協会)より

金沢市指定文化財

No.	種別	名称	員数	所有者	指定/認定年月日
1	芸能	加賀宝生		金沢能楽会	指定/認定年月日 昭和25年8月21日
2	建造物	長田菅原神社拝殿	1棟	長田菅原神社	指定年月日 昭和33年11月21日
3	書跡	高山右近自筆書状	1幅	木島光仁	指定年月日 昭和34年11月3日
4	民俗芸能	ソコカラ節		ソコカラ節保存会	指定/認定年月日 昭和34年11月3日
5	絵画	尾山神社神門原図	1枚	金沢市立玉川図書館	指定年月日 昭和34年11月3日
6	絵画	絹本着色 前田利家同夫人画像	2幅	桃雲寺	指定年月日 昭和35年11月3日
7	書跡	氏子地図	1幅	石浦神社	指定年月日 昭和35年11月3日
8	絵画	紙本着色 恭翁運良画像	1幅	伝燈寺	指定年月日 昭和36年11月3日
9	民俗芸能	山王悪魔払		山王祭奉賛会	指定/認定年月日 昭和36年11月3日
10	書跡	紙本墨書 本興寺寺法書	2幅	本興寺	指定年月日 昭和37年11月3日
11	絵画	紙本墨画 四季耕作屏風	1双	西田幹雄	指定年月日 昭和37年11月3日
12	民俗芸能	加賀獅子		加賀獅子保存協会	指定/認定年月日 昭和40年11月3日
13	彫刻	麦喰獅子	1面	波自加弥神社	指定年月日 昭和42年11月3日
14	建造物	天徳院山門	1棟	天徳院	指定年月日 昭和45年11月3日
15	史跡	古府縄文遺跡		金沢市	指定年月日 昭和47年11月3日
16	絵画	絹本着色 高島定吉夫婦画像	2幅	長久寺	指定年月日 昭和49年3月1日
17	史跡	松根城跡		松根城跡保存会	指定年月日 昭和49年3月1日
18	民俗芸能	さかたおどり		八田さかたおどり保存会	指定/認定年月日 昭和49年3月1日
19	史跡	寺島蔵人邸跡	土地 建物3棟	金沢市/金沢市文化保存財団	指定年月日 昭和49年3月25日
20	建造物	平尾家	1棟	金沢市	指定年月日 昭和50年1月29日
21	民俗芸能	加賀万歳		加賀万歳保存会	指定/認定年月日 昭和50年1月29日
22	絵画	絹本着色 親鸞聖人絵伝	4幅	専光寺	指定年月日 昭和50年7月1日
23	書跡	紙本墨書 正信偈註	1冊	善性寺	指定年月日 昭和50年7月1日
24	絵画	絹本着色 仏涅槃図	1幅	祇陀寺	指定年月日 昭和51年3月22日
25	絵画	紙本着色 心岩自画像	1幅	大円寺	指定年月日 昭和51年3月22日
26	工芸品	鑄造三具足	1具	妙典寺	指定年月日 昭和51年3月22日
27	工芸品	蒔罽卓	1卓	妙典寺	指定年月日 昭和52年3月1日
28	絵画	板絵彩色 三十六歌仙図額面	36面	尾崎神社	指定年月日 昭和52年3月1日
29	絵画	絹本着色 愛染明王画像 附 愛染明王画像裏書 鉄塔愛染明王記 愛染明王画像極書	1幅 1巻 1巻 1通	平岡野神社	指定年月日 昭和52年3月1日
30	絵画	絹本着色 仏涅槃図	1幅	高厳寺	指定年月日 昭和52年3月1日
31	絵画	紙本着色 生駒内膳直勝画像	1幅	高厳寺	指定年月日 昭和52年3月1日
32	絵画	絹本着色 高厳寺歴代和尚頂相	11幅	高厳寺	指定年月日 昭和52年3月1日
33	彫刻	木造隨身像	1対	波自加弥神社	指定年月日 昭和52年3月1日
34	絵画	板地彩色 絵馬額面	1対	夕日寺町観音堂	指定年月日 昭和52年11月11日
35	絵画	絹本着色 阿弥陀三尊来迎図	1幅	如来寺	指定年月日 昭和52年11月11日
36	絵画	絹本着色 方便法身尊影	1幅	専長寺	指定年月日 昭和52年11月11日
37	絵画	絹本着色 弘法大師画像	1幅	真福院	指定年月日 昭和53年4月11日
38	工芸品	絹本地刺繍 仏涅槃図	1幅	弘願院	指定年月日 昭和53年4月11日
39	絵画	紙本着色 双鶏図衝立	1面	奥田勝将	指定年月日 昭和53年4月11日
40	彫刻	木造仏涅槃像	1軀	法船寺	指定年月日 昭和53年4月11日
41	絵画	紙本着色 金沢城二ノ丸御殿景観図	2面	金沢市立玉川図書館	指定年月日 昭和54年4月21日
42	絵画	紙本着色 辰巳旧園新造客殿図	1面	金沢市立玉川図書館	指定年月日 昭和54年4月21日
43	芸能	金沢素囃子		金沢素囃子保存会	指定/認定年月日 昭和55年10月1日
44	工芸品	常徳寺梵鐘	1口	常徳寺	指定年月日 昭和55年12月1日
45	工芸品	少林寺梵鐘	1口	伝燈寺	指定年月日 昭和55年12月1日
46	工芸品	宝乗寺梵鐘	1口	宝乗寺	指定年月日 昭和55年12月1日
47	有形民俗	粟崎八幡神社奉納絵馬額面	19面	粟崎八幡神社	指定年月日 昭和57年3月1日
48	天然記念物	大野湊神社社叢		大野湊神社	指定年月日 昭和57年3月1日
49	天然記念物	東原のみずばしょう自生地		宮田外茂治	指定年月日 昭和58年4月1日
50	民俗芸能	大野湊神社の寺中神事能		大野湊神社神事能奉賛会	指定/認定年月日 昭和60年5月1日
51	民俗資料	加賀獅子舞用具 附 法被	5点 10着	加賀獅子保存協会	指定年月日 昭和61年10月1日
52	絵画	浅野川四季風景図	1巻	村松七九	指定年月日 昭和63年3月11日
53	天然記念物	板ヶ谷町八幡神社	高木 3株	八幡神社	指定年月日 平成1年5月1日
54	名勝	心蓮社庭園		心蓮社	指定年月日 平成1年5月1日
55	絵画	紙本着色 蓮湖真景之図	2巻	喜楽彦三	指定年月日 平成2年4月11日
56	工芸品	扇形梅の絵香合	1合	金沢市	指定年月日 平成2年4月11日
57	建造物	志摩	1棟	島謙司	指定年月日 平成3年4月11日
58	古文書典籍	加越能文庫	1件	金沢市立玉川図書館	指定年月日 平成3年6月11日
59	歴史資料	寺島蔵人邸歴史資料	166点	金沢市	指定年月日 平成6年5月11日
60	建造物	旧園邸	1棟	金沢市	指定年月日 平成6年5月11日
61	無形民俗	加賀鳶梯子登		加賀とびはしご登り保存会	指定/認定年月日 平成7年10月11日
62	彫刻	尾山神社所蔵能面	24面	尾山神社	指定年月日 平成9年1月30日
63	民俗芸能	上野町餅つき踊り		上野町餅つき踊り保存会	指定/認定年月日 平成9年1月30日
64	史跡	おまる塚・びわ塚古墳		宇佐神社・八幡神社	指定年月日 平成10年4月2日
65	歴史資料	大野湊神社歴史資料	1,692点	大野湊神社	指定年月日 平成11年4月30日
66	建造物	大野湊神社旧拜殿	1棟	大野湊神社	指定年月日 平成11年4月30日
67	考古資料	巻数(勸請)板堅田B遺跡出土	3点	金沢市	指定年月日 平成13年4月11日

(平成13年度現在)